

## 製品安全データシート (SDS)

作成日 2023/09/07

## 1：物質 混合物および企業 情報

1-1 製品名	<b>マーブルフィラー 1000 透明 L-スペシャル</b>		
英名	Marble Filler 1000 Transparent L-Special		
製品番号	10710, 10711, 10712, 10724, 10733, 10737		
組成	反応樹脂		
1-2 製造業者/供給者情報			
製造元/供給元	AKEMI chemisch technische Spezialfabrik GmbH		
製造元住所	Lechstrasse D 90451 Nurnberg deuchland		
TEL	+44(171)635-9191	+49(0)911-64296-59	
製造担当部門	AKEMI Laboratory		
1-3 提供者情報			
輸入元/総販売元	藤栄株式会社		
住所	〒 587 0944 大阪府東大阪市若江西新町 4-5-25		
担当部署	貿易 部		
T E L	06-6725-5236		
F A X	06-6725-3366		

## 2：危険有害性の要約

## 2-1 混合物としての物質/混合物の分類

- ・ Flam.Liq.3 H226 引火性の液体および蒸気
- ・ Repr 2 H361d 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
- ・ STOT RE 2 H373 長期にわたる、または反復暴露により聴覚器官の障害
- ・ Skin Irrit 2 H315 皮膚刺激
- ・ Skin Sens 1 H317 皮膚アレルギー反応のおそれ
- ・ Eye Irrit 2 H319 強い眼刺激
- ・ Aquatic Chronic 2 H411 長期的影響により水生生物に有害

## GHS分類

物理化学的危険性：	引火性液体	区分 3
健康に対する有害性：	生殖毒性	区分 2
	皮膚感作性/刺激性	区分 2
	特定標的臓器毒性（反復暴露）：	区分 2（聴覚器、神経系）
	目に対する重篤は損傷性/目刺激性：	区分 2
環境有害性：	水生環境有害性 長期（慢性）：	区分 2
記載なきGHS分類区分：	区分に該当しない/分類できない	

## 2-2 ラベル要素

- ・ 危険標識



- ・ 注意喚起語
- ・ 注意書き

危険

## 一般的注意

- P101 医学的な助言が必要な時には、製品容器やラベルを持っていくこと。
- P102 子供の手の届かない所に置くこと。
- P103 使用前にラベルをよく読むこと。

## 安全対策

- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙
- P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 応急措置

P303+P361+P353

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

P305+P351+P338

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。  
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。

P314 気分が悪い時は医師に連絡すること。

P333+P313 皮膚に炎症、発疹が出た場合、医師に連絡すること。

## 貯蔵

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しい場所で保管すること。

## 廃棄

P501 内容物/容器を国/都道府県/市町村の規制に従って廃棄すること。







## 2-3 追加情報：

製品の取り扱い時または硬化中、煙が放出されるので、適切な換気と必要に応じて煙の排出を確実に行ってください。

## 3：組成および成分情報

## 3-1 化学物質・混合物の区別：混合物

- ・ 説明：無害な添加物とともに以下に列挙する物質の混合物。

ビニルトルエン (vinyltoluene)		含有量	25 ~ 50%
CAS : 25013-15-4	 Flam.Liq.3		H226
EINECS : 246-562-2	Asp.Tox.1		H304
登録番号 : 01-2119622074-50-0000	Aquatic Acute.		H400
化審法番号 : 3-8	Aquatic Chronic 2		H411
	 Acute Tox.4		H332
	Skin Irrit.2		H315
	Eye Irrit.2		H319
	STOT SE3		H335
	Aquatic Chronic 3		H412
スチレン (styrene)		含有量	<10%
CAS : 100-42-5	 Flam.Liq.3		H226
EINECS : 202-851-5	 Repr.2		H361d
インデックス番号 : 601-026-00-0	STOT RE 1		H372
登録番号 : 01-2119457861-32	Asp.Tox.1		H304
化審法番号: 3-4	 Acute Tox.4		H332
	Skin Irrit.2		H315
	Eye Irrit.2		H319
	STOT SE 3		H335
	Aquatic Chronic 3		H412
メレックアンハイドライド (meleic anhydride)		含有量	<1%
CAS : 108-31-6	Resp. Sens.1		H334
EINECS : 203-571-6	STOT RE 1		H372
インデックス番号 : 607-096-00-9	Skin Corr.1B		H314
登録番号 : 01-2119472428-31	Eye Dam.1		H318
化審法番号 : 2-1101	 Acute Tox.4		H302
	Skin Sens.1A		H317
	EUH071		
	特記：最大許容量：SkinSens1A H317:C >0.001%		

- ・ 追加情報：記載された危険指示はセクション16を参照のこと。

## 4：応急処置

### 4-1 応急処置の説明

- ・ 一般的な初期手当

具合が悪くなった人を新鮮な空気の中へ連れて行く。

横向きで安定させて搬送する。汚染された衣服は全て脱がせる。

中毒の症状は数時間後に起こることがあるので、約48時間の監視が必要です。

- ・ 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息すること。

必要であれば人工呼吸を実施。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。意識の無い場合は横向きで安定させて搬送する。

- ・ 皮膚に付着した場合

直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

多量の水と石鹸で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

- ・ 眼に入った場合

直ちに医師に連絡すること。

流水で数分間注意深く洗浄すること。

コンタクトレンズを使用していて容易に外せる場合は、外して洗浄をすること。

洗浄後、医師の診断を仰ぐこと。

- ・ 飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

### 4-2 急性症状および遅発性症状の最も重要な徴候症状

呼吸困難、頭痛、めまい、吐き気

皮膚刺激やアレルギー性皮膚症状のリスクのため、製品の成分としてのポリエステルとエポキシアクリレート樹脂溶液との皮膚接触は避けるべきである。

時には手の接触を避けることができない場合は、保護手袋、適切な保護軟膏、および保護剤を塗布した皮膚に保護層を生成する。

### 4-3 医師の手当てと特別な処置が直ちに必要な状態

飲み込んだ場合、活性炭で胃洗浄する。

誤飲時や、嘔吐の場合、肺（気管）へ入ると非常に危険。

## 5：火災時の措置

### 5-1 消火剤

- ・ 適切な消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガスもしくはウォータースプレーを使用する。

大規模な火災の場合、ウォータースプレーもしくは対アルコール粉末を使用。

- ・ 使ってはならない消火剤

フルジェット水

## 5-2 特有の危険有害性

加熱中または火災の際、有毒ガスが発生するおそれがある。

以下のものが放出される。

一酸化炭素 (CO)、窒素酸化物( $\text{No}_x$ )

特定の火災条件下では、その他の有毒ガスが放出することもある。

シアン化水素 (HCN)

## 5-3 消火を行う者のつく別は保護具および予防措置

消火作業の際は、空気呼吸器を含め防護服（耐熱性）を着用する。

爆発ガス、燃焼ガスを吸い込まないようにする。

規定に従って火災の残骸と汚染された消火水を処分する。

消火水は別で回収し、下水道に入り込まないようにする。

## 6：漏出時の措置

### 6-1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

関係者以外は近づけない。

漏洩場所を換気する。

漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

作業者は適切な保護具（「8.暴露防止及び保護措置」の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

### 6-2 環境に対する注意事項

環境中に放出してはならない。

河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

水路または下水道に浸透した場合は、関係局に通知する。

### 6-3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

危険でなければ漏れを止める。

少量の場合は、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆っていて密着できる空容器に回収する。

大量の場合は、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収する。

### 6-4 二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

床面に残ると滑る危険性があるため、こまめに処理する。

## 7：取り扱いおよび保管上の注意

## 7-1 取扱い

## ・ 技術的対策

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

換気の良い場所で作業する。

熱/火花/裸火/高温/日光などの着火源から遠ざける。－禁煙

換気の良い場所で作業する（特にフロアーレベルでは）。

粉塵は空気と混合して爆発する可能性がある。

火花を発生させない工具を使用する。－禁煙

静電気放電に対する予防措置を講ずる。

## ・ 安全取扱注意事項

換気の良い場所で取り扱うこと。

眼、皮膚または衣類に付けないこと。

取り扱い顎は良く手を洗いうがいすること。

火気注意。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

## ・ 衛生対策

取り扱い後は良く手を洗う事。

## 7-2 保管

## ・ 安全な保管条件

専用の容器に保管すること。地面への流出を防ぐこと。

酸化性物質の近くには保管しない。食品の近くには保管しない。

換気の良い場所で密閉して保管すること。

## ・ 安全な容器包装材料

包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 8：曝露防止及び保護措置

## 8-1 管理指標 作業場において監視が必要な物質は含まれない。

## ・ DNELs (管理濃度) : 推定無影響レベル

25013-15-4 ビニルトルエン

口腔	DNEL(長期)	0.0833mg / kg 体重 / 日 (BEV)
皮膚	DNEL(長期)	1.65mg / kg 体重 / 日 (ARB)
		0.595mg / kg 体重 / 日 (BEV)
吸入	DNEL(長期)	5.83mg / m <sup>3</sup> / 空気 (ARB)
		1.04mg / m <sup>3</sup> 空気 (BEV)

100-42-5 スチレン		
口腔	DNEL(長期)	2.1mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
皮膚	DNEL(長期)	406mg / kg 体重 / 日 ( ARB )
吸入		343mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
	DNEL(短期)	289-306mg / m <sup>3</sup> / 空気 ( ARB )
		174.25-182.75mg / m <sup>3</sup> 空気 ( BEV )
	DNEL(長期)	85mg / m <sup>3</sup> 空気 ( ARB )
		10.2mg / m <sup>3</sup> 空気 ( BEV )
108-31-6 メレックアンハイドライド(meleic anhydride)		
口腔	DNEL(長期)	0.06mg / kg 体重 / 日 ( BEV )
皮膚	DNEL(短期)	0.044mg / kg 体重 / 日 ( ARB )
	DNEL(長期)	0.2mg / kg 体重 / 日 ( ARB )
吸入		0.1mg / m <sup>3</sup> / 空気 ( BEV )
	DNEL(短期)	0.8mg / m <sup>3</sup> 空気 ( ARB )
		0.4mg / m <sup>3</sup> 空気 ( ARB )
	DNEL(長期)	0.08mg / m <sup>3</sup> 空気 ( BEV )
・ PNECs (許容濃度) : 予測無影響濃度		
25013-15-4 ビニルトルエン		
PNEC(水性)		17mg / l (KA) 0.000319mg / l (MW) 0.0000319mg / l (SW)
PNEC(固形)		0.00471mg / kg 乾燥(BO) 0.025mg / kg 乾燥(MWS) 1.245mg / kg 乾燥(SWS)
100-42-5 スチレン		
PNEC(水性)		5mg / l (KA) 0.014mg / l (MW) 0.028mg / l (SW) 0.04 mg/l (WAS)
PNEC(固形)		0.2mg / kg 乾燥(BO) 0.307mg / kg 乾燥(MWS) 0.614mg / kg 乾燥(SWS)

108-31-6 メレックアンハイドライド<sup>®</sup>(meleic anhydride)

PNEC(水性)

44.6mg / l (KA)

0.0043mg / l (MW)

0.043mg / l (SW)

0.4281mg/l (WAS)

PNEC(固形)

0.042mg / kg 乾燥(BO)

0.0334mg / kg 乾燥(MWS)

0.03346mg / kg 乾燥(SWS)

## 8-2 ばく露防止

## ・ 一般的な保護対策・衛生対策

作業中は飲食、喫煙を避ける。肌の保護のため、スキンクリーム等を使用する。

作業後は肌を洗浄する。汚染された衣類は直ちに取り除く。

食品や飲料の近くに置かない。休憩時や作業後は手を洗浄する。

ガスや埃を吸い込まないようにする。目や肌に触れるのを避ける。

## ・ 呼吸用保護具

防毒マスクを使用すること。

## ・ 手の保護具

保護手袋を着用すること。スキン保護クリームを使用する。

対応する手袋の仕様： フッ素ゴム製, ニトリルゴム製

使用不可の手袋の仕様： 天然ゴム、クロロプレンゴム、皮手袋

## ・ 眼の保護具

密閉型のゴーグルを使用のこと。

## ・ 皮膚及び身体の保護具

長袖作業衣、必要に応じて保護服及び保護長靴を着用する。

## ・ 衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

使用の際は、飲食/喫煙をしてはならない。

## 9：物質的及び化学的性質

## 9-1 基本的な物理化学的特性についての情報

## ・ 一般情報

## ・ 外観

形： 流動的

色： 不透明

## ・ 臭い

特徴的

## ・ pH-値

適応なし

## ・ 状態の変化

融点/硬化点： 未定

沸点/沸点範囲：145°C

## ・ 引火点

32°C



・ 着火温度	480℃
・ 自動発火温度	製品は自動点火しない。
・ 爆発性	製品は爆発の危険はないが、爆発性空気/蒸気を形成することがある。
・ 爆発限界	下限：1.2Vol% 上限：8.9Vol%
・ 20℃での蒸気圧	6hPa
・ 20℃での密度	1.15g / cm <sup>3</sup>
・ 水への溶解性／混和性	混和性はなく、溶解しにくい。
・ 粘度	粘度性：未定 20℃での動粘度性：210s (DIN 53211/4)
・ 溶剤含有量	有機溶剤：36.3%

#### 9-2 その他の情報

- ・ 外観 液体
- ・ 溶剤含有量 有機溶剤 48.9%
- ・ 爆発性 製品は爆発の危険はないが爆発性空気/蒸気を形成することがある。

### 10：安定性および反応性

#### 10-1 反応性

可燃性はあるが、通常の保管・取扱い条件において安定と考える。

#### 10-2 化学的安定性

通常の条件下では安定である。

#### 10-3 危険有害反応可能性

発熱性重合。

過酸化物や他のラジカル生成物質と反応する。

強酸と反応する。

強アルカリと反応する。

#### 10-4 避けるべき条件

関連情報はない。

#### 10-5 混触危険物質

関連情報はない。

#### 10-6 危険有害な分解生成物

一酸化炭素

二酸化炭素

炭化水素

## 1 1 : 有害性情報

## 11-1 毒性学的影響に関する情報

- 急性毒性：これまでに得られているデータから、この分類基準には該当しない。

- LD / LC50 分類に関連した値：

ATE (急性毒性推定値)

吸入	LC50/4 h	31mg/l
----	----------	--------

## 25013-15-4 ビニルトルエン

経口	LD50	3,375mg / kg (ラット)
	NOAEL	600mg / kg (ラット)
経皮	LC50	4,585mg / m <sup>3</sup> (ウサギ)
吸入	LC50 / 4h	>16,891mg / l (ラット)
	LC50 / 4h	11mg / l (ATE)

## 100-42-5 スチレン

経口	LD50	>2,000mg / kg (ラット)
経皮	LD50	>2,000mg / kg (ラット)( OECD Prüfrichtlinie402)
吸入	LC50 / 4h	9.5mg / m <sup>3</sup> (マウス)
		11,800mg / m <sup>3</sup> (ラット)
	LC50 / 4h	11.8mg / l (ラット)
	NOAEC	4.34mg / l (ラット)

## 108-31-6 メレックアンハイドライド(meleic anhydride)

経口	LD50	1,090-2,620mg / kg (ウサギ)
		400-480mg / kg (ラット)
経皮	LC50	2,620mg / m <sup>3</sup> (ウサギ)
吸入	LC50 / 1h	>4.35mg / l (ラット)
	LC50 / 48h	138mg / l (lem)

- 皮膚腐食性及び皮膚刺激性  
皮膚刺激を引き起こす。
- 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性  
重度の眼への刺激を引き起こす。
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性  
アレルギー性の皮膚への感作を生じる恐れがある。
- 生殖細胞変異原生  
データなしのため呼吸器感作性—分類できないとした。
- 発がん性  
データなしのため呼吸器感作性—分類できないとした。
- 生殖毒性  
胎児を傷つけることが疑われる。

- ・ 特定標的臓器毒性（単回ばく露）  
吸入すると呼吸器への刺激のおそれ。
- ・ 特定標的臓器毒性（反復ばく露）  
長期または反復暴露により聴覚器官に障害を引き起こす。
- ・ 吸引性呼吸器有害性  
データなしのため呼吸器感作性一分類できないとした。

## 1 2：環境影響情報

## 12-1 生態毒性

- ・ 水生生物毒性：

## 25013-15-4 ビニルトルエン

EC50	2.6mg / l (ブルーギル)
EC50/48h	9.3mg / l (ミジンコ)
ErC50/72h	4.3mg / l (ムレミカズキモ)
NOEC	0.563mg / l (魚)
NOELR/72h	1.6 mg/l (緑藻)
NOEC/21d	0.32 mg/l (ミジンコ) 0.563 (魚)
EC10	0.25 mg/l (イカダ藻)
EC50/72h	0.319 mg/l (イカダ藻) 5.2 mg/l (ファットヘッドミノー)
LC50/96h	2.6mg / l (プセウドキルクネリエラ 属 セレナスツルム科 緑藻類) 5.2-23.4mg / l (魚) 5.2 mg/l (ファットヘッドミノー)

## 100-42-5 スチレン

EC50 / 96h	6.3mg / l (ムレミカズキモ)
EC50	500mg / l (BES)(ISO Vorschrift 8192-1986 E) 5.5mg / l (Photobac. Phosphoreum)
IC50 / 72h	4.9mg / l (緑藻) 1.4mg / l (プセウドキルクネリエラ 属 セレナスツルム科 緑藻類)
IC5 / 8d	>200mg / l (イカダモ)
EC10 / 16h	72mg / l (シュードモナス・プチダ)
EC50 / 16h	>72mg / l (シュードモナス・プチダ)
EC50 / 8d	>200mg / l (イカダモ)
EC50 / 72u	>1-<10mg / l (緑藻)
EC20 / 0.5h	140mg / l (BES)(OECD 209)
NOEC / 21d	1.01mg / l (ミジンコ)
EC10	0.28mg / l (ムレミカズキモ)(EPA OTS 797.1050)

EC50 / 48h	0.56mg / l (緑藻) 3.3-7.4mg / l (ミジンコ)
EC50 / 72h	0.46-4.3mg / l (ムレミカヅキモ)
LC50 / 96h	>1-<10mg / l (魚) 19.03-33.53mg / l (lem) 3.24-4.99mg / l (ファットヘッドミノー) 6.75-14.5mg / l (ファットヘッドミノー) 58.75-95.32mg / l (グッピー)
LC50 / 72h	4.9mg / l (緑藻)
108-31-6 メレックアンハイドライド(meleic anhydride)	
EC50 / 24h	316-330 mg/l (ミジンコ)
EC50	77 mg/l (ミジンコ)
EC10 / 18h	44.6 mg/l (pseudomonas putida)
EC50 / 48h	42.81 mg/l (ミジンコ)
ErC50 / 72h	74.35 mg/l (ムレミカヅキモ)(OECD202)
NOELR / 72h	150 mg/l (ムレミカヅキモ)
NOEC/21d	10 mg/l (ミジンコ)
EC50 / 72h	29 mg/l (イカダ藻) 74.32 mg/l (ムレミカヅキモ) >150 mg / l (プセウドキルクネリエラ 属 セレナスツルム科 緑藻類)
LC50 / 96h	75 mg/l (ブルーギル) 75 mg/l (ニジマス)

## 12-2 持続性及び分解性

関連情報はない。

## 12-3 生物蓄積性

関連情報はない。

## 12-4 土壌中の移動

関連情報はない。

- ・ 追加の生態学的情報：
- ・ 一般的な注意事項：

製品を地下水や水路に入らないようにすること。

## 12-5 PBT および vPvB 評価の結果

- ・ PBT：適応なし
- ・ vPvB：適応なし

## 12-6 内分泌攪乱物質

含まない

12-7 その他の有害情報  
 関連情報はない。

### 1 3：廃棄上の注意

#### 13-1 廃棄物の処理方法

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

- ・ 汚染容器及び包装

空容器類を破棄するときは、内容物を完全に除去した後に産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

### 1 4：輸送上の注意

#### 14-1 国際規制

- ・ 海上規制情報

IMOの規定に従う。

#### 14-2 国連番号

3269 ポリエステル樹脂キット

- ・ シッピングネーム

ポリエステル樹脂キット

#### 14-3 IMDG, IATA

Class 3 可燃性液体

#### 14-4 容器等級

III

#### 14-5 海洋汚染物質

適応なし

- ・ 国内規制

#### 14-6 特別の安全対策

「7.取扱い及び保管上の注意」の記載に従うこと。

容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行うこと。

- ・ 陸上規制

消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められている運送方法に従うこと。

450L以下であれば硬化剤なしでも危険品の扱いにはならない。

- ・ 海上輸送

船舶安全法の規定に従うこと。

30L以下であれば硬化剤なしでも危険品の扱いにはならない。

- ・ 航空輸送  
航空法の規定に従う。  
硬化剤なしの場合、3/III UN1866 樹脂液とする。

## 15：適用法令

### 15-1 物質の安全性、健康及び環境に関する規制／法律

- ・ 消防法  
危険物第4類第2石油類（非水溶性液体）、危険等級III
- ・ 毒劇物取締法  
該当なし
- ・ 労働安全衛生法  
名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施工令第18条別表第9) ビニルトルエン  
名称等を表示すべき危険有害物(法第57条の2、施工令第18条の2別表第9) ビニルトルエン  
リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3) ビニルトルエン  
特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第66条第2項、施行令第22条第1項）  
スチレン  
名称等を表示すべき危険物及び有害物  
（法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9）スチレン  
名称等を通知すべき危険物及び有害物  
（法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9）スチレン  
特定化学物質第2類物質、特別有機溶剤等  
（特定化学物質障害予防規則第2条第1項第2号、第3の2号、第3の3号）スチレン  
特定化学物質特別管理物質（特定化学物質障害予防規則第38条3）スチレン  
健康障害防止指針公表物質（法第28条第3項・厚労省指針公示）スチレン
- ・ 道路法  
危険物、爆発性液体
- ・ 船舶安全法  
引火性液体類
- ・ 航空法  
引火性液体類
- ・ 港則法  
引火性液体類
- ・ 下水道法  
鉱油類排出規制
- ・ 大気汚染防止法  
有害大気汚染物質

- ・ 水質汚濁防止法  
油分排出規制
- ・ 海洋汚染防止法  
油分排出規制
- ・ PRTR法  
施行令第1条別表第1（第1種指定化学物質）スチレン

## 16：その他の情報

この情報は現在の知識に基づいています。ただし、特定の製品機能の保証を構成するものではなく、法的に有効な契約上の関係を確立するものではありません。

- ・ 関連フレーズ
  - H225 引火性の高い液体および蒸気
  - H226 引火性液体および蒸気
  - H301 飲み込むと有害
  - H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
  - H311 皮膚に接触すると有毒
  - H315 皮膚刺激
  - H319 強い眼刺激
  - H331 吸入すると有毒
  - H332 吸入すると有害
  - H335 呼吸器への刺激のおそれ
  - H336 眠気やめまいのおそれ
  - H361d 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
  - H370 臓器の障害
  - H372 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害
  - H373 長期にわたる、または反復暴露により臓器の障害のおそれ
  - H412 長期的影響により水生生物に有害
- ・ 推奨使用制限  
テクニカルデータシート（TDS）を参照してください。
- ・ SDS 発行部門：  
研究室
- ・ 連絡先：  
Dieter Zimmermann
- ・ 略語と頭字語：
 

RID	国境を越えた国際的な輸送は、鉄道による危険物の国際輸送に関する規則（Regulations on Rail）
ICAO	国際民間航空機関
ADR	欧州連合（EU）に関する欧州合意 道路による危険物の運送

IMDG	危険物に関する国際海上コード
IATA	国際航空運送協会
GHS	化学品の危険有害性
EINECS	既存の商業化学物質の欧州インベントリ
ELINCS	通知された化学物質の欧州リスト
CAS	ケミカルアブストラクトサービス(アメリカ化学協会の部門)
DNEL	導出無毒性量 (REACH)
PNEC	予測無影響濃度 (REACH)
LC50	致死濃度 50%
LD50	致死量 50%
PBT	難分解性化学物質 (持続的な生物蓄積毒性)
vPvB	極難分解性有害物質
Flam.Liq.2	引火性液体 カテゴリー 2
Flam.Liq.3	引火性液体 カテゴリー 3
Acute Tox.4	急性毒性 カテゴリー 4
Skin Irrit.2	皮膚腐食性/刺激 カテゴリー 2
Eye Dam.1	重大な眼刺激性/眼刺激性 カテゴリー 1
Eye Irrit.2	重大な眼刺激性/眼刺激性 カテゴリー 2
Repr.2	生殖毒性 カテゴリー 2
Skin Sens. 1	皮膚感作性 カテゴリー 1
Skin Sens. 1A	皮膚感作性 カテゴリー 1A
STOT SE 3	特定標的臓器に対する毒性 (一回暴露) カテゴリー 3
STOT RE 1	特定標的臓器毒性 (反復暴露) カテゴリー 1
STOT RE 2	特定標的臓器毒性 (反復暴露) カテゴリー 2
Asp.Tox.1	吸入の危険 カテゴリー 1
Aquatic Acute 1	水生環境に有害 カテゴリー 1
Aquatic chronic 2	水生環境に有害/長期水生有害 カテゴリー 2
Aquatic Chronic 3	水生環境に有害/長期水生有害 カテゴリー 3

- ・ 本記載内容は現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改定される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。